

令和4年度 都城市立東小学校 自己評価書

4段階評価 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

【学校経営ビジョン】

「五気をもつ子ども」の具体化を図り、子ども・保護者から信頼される学校、「風通しのよい職場環境づくり」の取組による笑顔あふれる職場環境の学校、「PTA・学校運営協議会等との連携」による地域に貢献する学校を目指し、全教育活動を「工夫・徹底・継続」の視点から見直し、東小としての特色ある学校づくりを推進する。

重点目標	主な達成手段	結果の考察・分析・改善策等	職員	児童	保護者	平均
知育 基礎・基本の 確実な定着と 学力の向上	1 ICTの効果的な活用を図り、単元テストにおいて、学級の平均点が期待平均点以上となるよう、指導の徹底と個別指導の充実を図る。	1 タブレットの有効活用を行い、AIドリルの活用などによって、児童の学習が個別最適な学習となりつつある。ただ、話し合い活動に関しては十分とは言えず、今後、深い学びのための話し合い活動を充実させ、協働的な学習を目指したい。	3.0	3.4	3.2	3.2
	2 妻ヶ丘地区小中一貫教育学力向上に係る取組を通して、児童の学力向上を目指した授業実践や研修機会の確保を図る。	2 小中一貫の研修会に全職員で参加し、妻ヶ丘中学校区で決定した共通実践事項に沿ったタブレット活用を行ってきた。今後も3校でより効果的な活用法を探っていききたい。	2.9	3.4	3.1	3.1
	3 図書館サポーターとの連携で児童一人一人の図書貸出数を増やし、合わせて読書の質を向上させることで、読書力の向上を図る。	3 T2月末までの貸出冊数は35,465冊と昨年度よりも減ったが、昼休み時間短縮の影響と考えられる。一定の読書量は確保できており、今後、様々なジャンルの本を読んだり、読んだ本の感想を交流したりするなどして、読書の質を向上させていきたい。	3.0	3.2	3.1	3.1
徳育 基本的な生活 習慣の定着と豊 かな心の育成	1 積極的な生徒指導を展開し、重点指導事項について具体的指導を徹底することで、「挨拶(会釈)・返事・履物並べ・立腰」の達成率80%以上を目指す。	1 学校内での返事・あいさつ・会釈は確実に良くなってきていることを感じている。しかし、地域でのあいさつ等は今一歩という声も聞かれる。日常生活全般で基本的な生活習慣の定着を目指したい。	2.7	3.1	3.2	3.0
	2 道徳・学級活動における話し合い活動や体験活動の充実を図ることで、「学校が楽しい」と回答する児童の達成率90%以上を目指す。	2 学校が楽しいと回答した児童は88%で、昨年度とあまり変わらない。今後も道徳・学級活動における話し合い活動や体験活動を充実させ、児童の自己肯定感を高めていきたい。	3.0	3.5	3.3	3.3
	3 学校安全諸計画に基づく避難訓練や安全指導を実施し、「自分の命は自分で守る」児童の育成を図る。	3 3密を避ける形で、できる範囲で避難訓練等を実施することができた。今後は「自分で守る」ために子どもたちだけで行動する訓練も実施したい。	3.1	3.6	3.3	3.3
体育 基礎体力の向 上と健康的な生 活習慣の定着	1 昨年度の体力テストの結果を踏まえ、A判定の児童を5%以上、D、E判定の児童をそれぞれ25%、10%以下になるよう、体育授業の充実をはじめ体力向上プランに沿った具体的な取組を徹底する。	1 今年度も途中から昼休み時間の短縮、外遊びの自粛を行ってきた。遊びを通じた体力づくりが進まなかった。体育の時間には、体育振興指導教員を招聘したりして、体育の授業改善を行い、運動量を確保し、体力向上を目指した取組も行った。今後は身近な活動の中に体力向上につながる動きを取り入れていきたい。	2.5	3.4	3.1	3.0
	2 健康に関する基本的な生活習慣の形成を目指した常時指導を徹底することで、「早寝・早起き・朝ごはん」の達成率85%以上を目指す。	2 目標達成は難しかった。特に「早寝」ができない児童が増えてきている気がする。家庭でのメディアとの関わり方を指導し、家庭と協力連携しながら健康に関する基本的な生活習慣の定着を目指したい。	2.7	3.2	3.2	3.0
	3 「弁当の日」の工夫・改善と、家庭をはじめ関係機関と連携した「食に関する指導」を計画的に推進する。	3 弁当の日や親子クッキングの取組については、実践できている家庭が多かった。「食に関する指導」の充実のために栄養教諭の招聘等も考えていきたい。	3.0	3.4	3.1	3.2
ふるさと教育 家庭・地域との 連携と開かれた 学校づくり	1 学校だよりの定期的な発行とHPの更新により、保護者や地域住民に対して適切な情報発信を行い、本校の教育活動への理解を深める。	1 定期的に学校だよりを発信し、学校HPの更新も行事ごとに行うことで、保護者や地域への情報発信はできた。今後は保護者・地域からの意見を反映させていく手段等を考えていきたい。	3.4		3.2	3.3
	2 様々な教育活動において、地域人材・地域素材を積極的に活用することで、地域との連携を深める。	2 キッズワークショップや各学年での地域人材の活用など、コロナ福の中、積極的な取組ができた。今後は児童に「妻ヶ丘地域の一員」という意識を育むような仕掛けを考えていきたい。	3.0	3.2	3.3	3.2
	3 学校運営協議会をはじめ、まちづくり協議会等との連携と活用を通して、地域とともにある東小の実現を目指す。	3 できるだけ年間計画通りの開催を心掛けた。会の中ではできるだけ多くの意見をいただくよう配慮し、実施できなかったときにも資料を配付し、御意見を集約して学校運営に生かす努力をしてきた。				